

2016 特別な係長

26 新子総連第 621 号

平成 26 年 7 月 24 日

新宿区学童保育連絡協議会
会長 大久保 太郎 様

子ども家庭部長 吉村 晴美

「学童クラブ事業のあり方に関する要望」について(回答)

日ごろより、児童館・学童クラブ事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。新宿区学童保育連絡協議会会長からいただきましたご要望について、下記のとおりお答えいたします。

要望

1. 「新宿区次世代育成支援計画、子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年度～平成 31 年度 概要・全文）において、これまで同様「学童クラブ」の文言を残して下さい。
2. 新子ども・子育て支援法に基づき学童クラブの保育の「質」の向上を図るようにして下さい。
3. 学童クラブと放課後子ども広場との違いについて保護者が混同しないよう啓蒙活動を行って下さい。
4. 落四小内学童クラブへ移転しても現在の新宿せいが学童クラブの保育の質よりも下がることのないようにして下さい。
5. 来年度、民営化となる三館他の事業者選定については十分に民意を反映して下さい。
6. 過半数が現在定員オーバーの学童クラブについて具体的な改善策を提案して下さい。

(回答)

- 1 新宿区では、これまで放課後の子どもの居場所として学童クラブ、児童館、放課後子どもひろばを整備してきました。
現在作成中の「新宿区次世代育成支援計画、子ども・子育て支援事業計画」においても、放課後の子どもの居場所の 1 つとして「学童クラブ」を位置づけていく予定です。
- 2 学童クラブでは、子どもの気持ちに寄り添った運営を行い、保育の質を確保するためすべて有資格者を配置するのはもちろん、区の児童指導業務経験のある職員を中心に、日常の情報交換のほか、定期的に巡回を行うなどの助言・指導を行っています。また、区の担当者と区内の全委託学童クラブのリーダーが参加するリーダー会議を年 6 回程度開催し、共通する間

題や運営方法についての情報共有を行っています。

研修については、区主催の実務研修や他の児童館の運営方法を学ぶ児童館体験研修、東京都主催の職員研修への積極的な参加も促し、職員のスキルアップを図っています。 **体験研修**

さらに、利用者アンケート等で保護者の要望が、運営に反映されているかなども確認しながら、事業者のサービスを向上させ、質の高い保育を提供できるよう努めてまいります。

なお、学童クラブの支援単位と専有面積については、国基準に基づき検討を進めています。

- 3 学童クラブと放課後子どもひろばの違いについては、10月に区立小学校全学年及び区内保育園、子ども園、幼稚園の年長組のご家庭に周知文を配布するとともに、区ホームページで周知致します。また、平成27年度の学童クラブの申込みの際や、**小学校の新入生向け保護者会等での説明会**、各放課後子どもひろばで発行しているひろばだより等でも、丁寧に説明を行ってまいります。

就学前検診

- 4 落合第四小学校内学童クラブについては、1.5教室分のスペースを確保できることとなり、せいが学童クラブの待機児童を解消できる規模の区立学童クラブの開設が可能となりました。定員オーバーの可能性への対応については、学校内の学童クラブは、学童クラブの専用室の他に、広い校庭や放課後子どもひろばの活動室などがあります。学童クラブ室は、自由に勉強をしたり静かな遊びの場として活用し、校庭では学童クラブ児以外の子ども達との交流の場としてダイナミックな遊びを提供するなど、スペースを有効に活用しながら、子どもたちが伸び伸びと過ごせる環境を整えてまいります。

事業者選定にあたっては、せいが学童クラブ利用者代表に選定委員に加わっていただき、ご意見を反映させながら進めてまいります。

- 5 選定委員会の構成については、利用者代表（**学童クラブ代表1名・小学校PTA代表1名**）・学識経験者1名・区職員2名を基本とし、利用者のご意見を反映させながら、優秀で熱意のある事業者を区が責任を持って選定してまいります。

また、選定委員の皆様への資料については、事前準備が十分できるよう、余裕を持って配布させていただきます。社会福祉法人の参入についても、放課後児童健全育成事業の実績のある法人に、児童指導業務委託導入につ

いてのお知らせを郵送するなど、働きかけを行ってまいります。

- 6 学童クラブの定員オーバーについては、解決しなければいけない課題であると認識しています。保育ニーズの増加に伴い、学童クラブニーズも増加傾向にあります。そのため、区では増加する学童ニーズに対応するため、**休園している幼稚園舎や余裕教室の活用**により、学校内学童クラブを整備してまいりました。

今後も、定員に大きくかい離があり、将来的にも需要増が見込まれる地域については、学童クラブの改修や増築等を含め、定員の確保方策を検討していきます。併せて、放課後子どもひろばに付加機能を付けていくことを含め、お子さんたちにより良い環境を提供するためにどのようなことができるか、具体的な検討も進めてまいります。

【問い合わせ】

子ども家庭部子ども総合センター児童館運営係
5 2 7 3 - 4 5 4 4